

結果概要

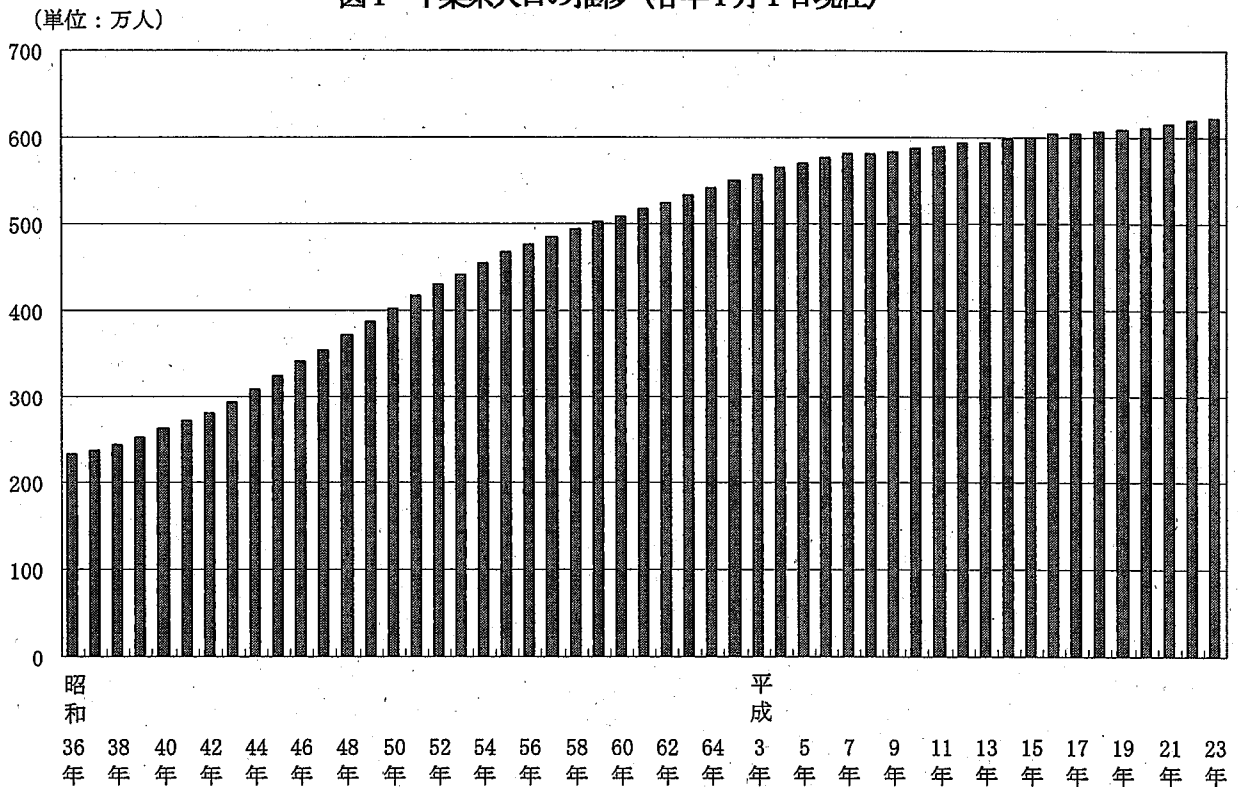
1. 人口総数

県人口 621 万人

平成 23 年 1 月 1 日現在の本県の人口は 6,217,027 人で、前年人口の 6,187,319 人に比べ 29,708 人、率にして 0.48% 増加した。本県の人口は、大正 9 年 10 月 1 日現在（国勢調査）1,336,155 人で、その後増加を続け、昭和 49 年 11 月 1 日現在では 400 万人を超えて、4,002,808 人となった。さらに、昭和 58 年 10 月 1 日現在では 500 万人を超え 5,002,542 人となり、平成 14 年 9 月 17 日に 600 万人を突破した。

平成 22 年国勢調査によると、本県の人口は、6,216,289 人で全国第 6 位となっている。

図1 千葉県人口の推移（各年1月1日現在）

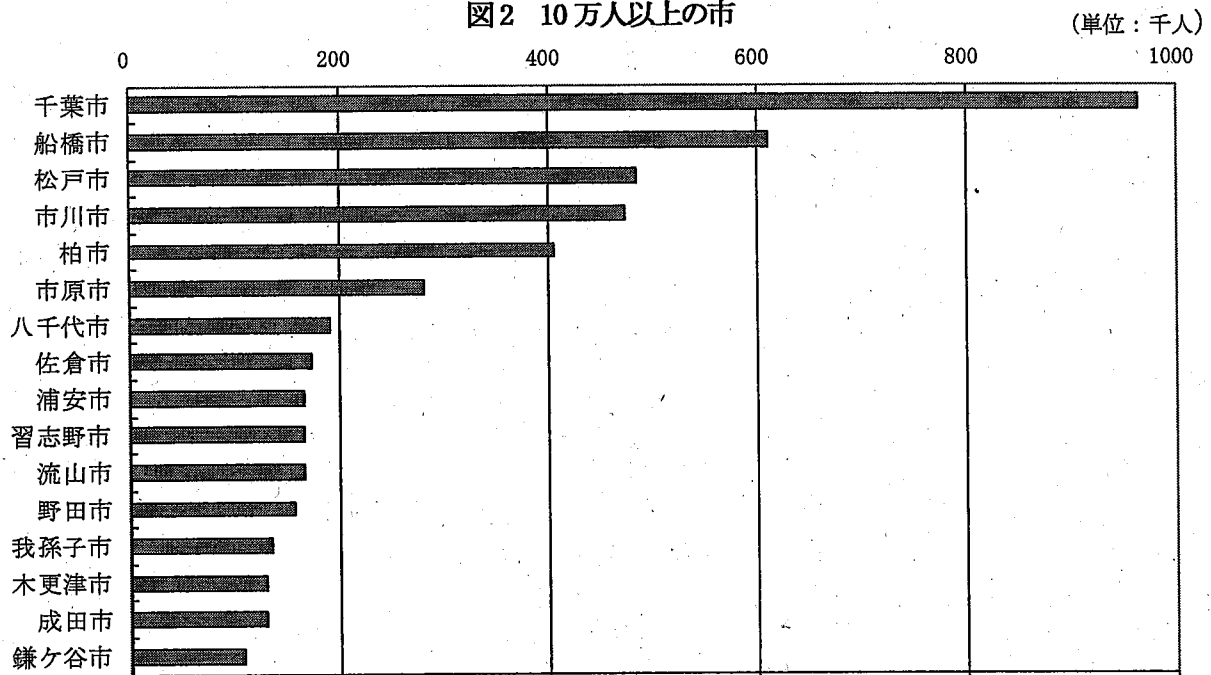


千葉市人口 96万2千人
県人口の 15.5%を占める

平成23年1月1日現在の県人口を市町村別にみると、市部(36市)のうち10万人以上の市は16市あり、そのうち千葉市が962,625人(県人口に占める割合15.5%)で最も多く、郡部人口272,219人(同4.4%)の約3.5倍となっている。以下、船橋市609,107人(同9.8%)、松戸市484,436人(同7.8%)、市川市472,954人(同7.6%)、柏市404,675人(同6.5%)の順で続き、この5市で県人口の47.2%を占めている。

郡部(17町1村)では、大網白里町が50,123人(同0.8%)で最も多く、以下、横芝光町24,601人(同0.4%)、栄町22,471人(同0.4%)、酒々井町21,239人(同0.3%)、九十九里町17,919人(同0.3%)の順となっている。

図2 10万人以上の市



2. 人口増加

人口増加数 2万9千人
増加率 0.48%

平成22年中の本県の人口増加は、増加数29,708人、増加率0.48%で、前年(33,661人、0.55%)より減少した。近年の人口増加の推移を増加率で見ると、昭和42年から49年までは4%以上の増加率であったが、昭和57年からは1%台で推移、平成5年には1%を割り、平成22年には0.48%となった。

自然増加数は減少

平成22年中の自然増加は、増加数2,248人(出生52,625人、死亡50,377人)で、前年の4,843人(出生52,988人、死亡48,145人)に比べ出生が363人減少し、死亡が2,232人増加して自然増加数は2,595人減少した。

近年の自然増加を増加率(各年1月1日現在人口に対する自然増加総数の割合)で見ると、昭和42年から54年までは1%以上の増加率であったが、昭和55年に1%を割り、平成元年以降は0.5%を下回って推移し、平成22年は0.1%を下回る0.04%となった。

社会増加数は減少

平成22年中の社会増加は、増加数27,460人(転入183,829人、転出171,160人、県内の移動2人、その他14,789人)で、前年の28,818人(転入197,477人、転出171,136人、県内の移動485人、その他1,992人)に比べ転入が13,648人減少し、転出が24人増加し、県内の移動が483人減少し、その他が12,797人増加して、社会増加数は前年に比べ1,358人減少した。

近年の社会増加を増加率(各年1月1日現在人口に対する社会増加総数の割合)で見ると、昭和37年から昭和50年までは2%以上の増加率で、そのうち昭和44年は、3.97%と4%に近い高い増加率であったが、昭和51年以降は1%前後の増加率で推移し、平成22年には0.44%となった。

図3 人口増加率の推移(昭和36年～平成22年)

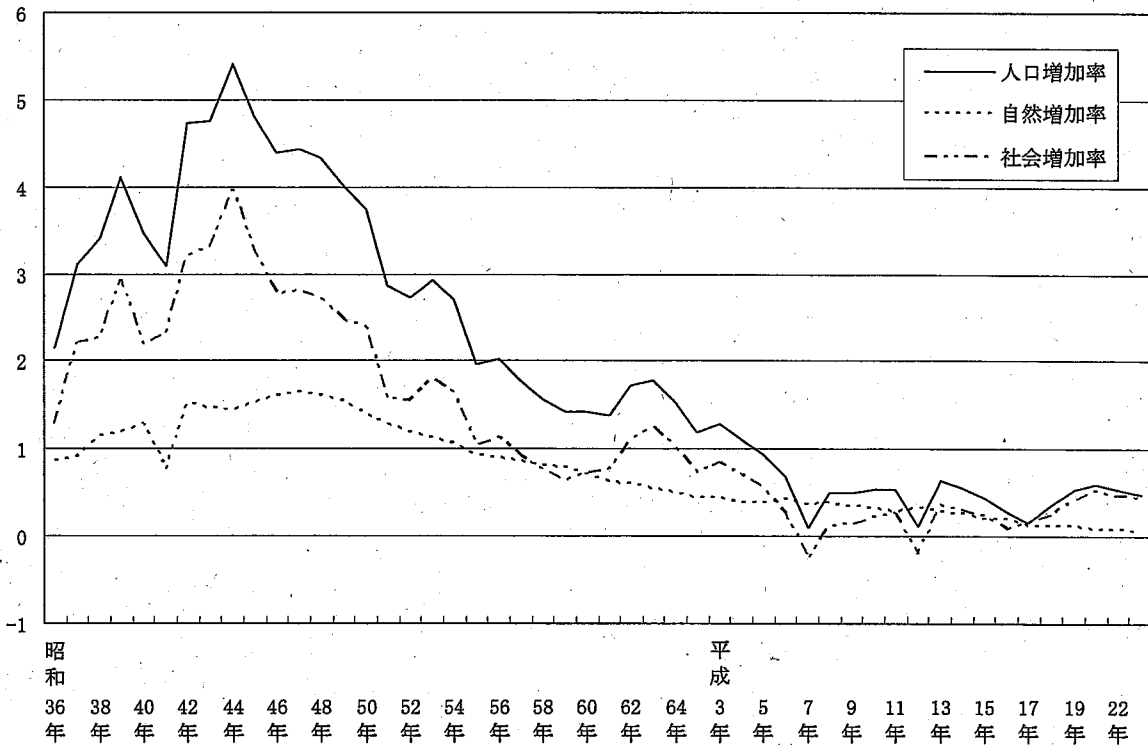


表1 月別動態別人口増加数(平成22年中)

	人口増加数	自然増加			社会増加				
		増加数	出生	死亡	増加数	転入	転出	県内の移動	その他
1月中	-773	-526	4,457	4,983	-247	10,539	10,584	-243	41
2月中	-1,143	-201	4,067	4,268	-942	11,287	11,755	-400	-74
3月中	4,576	-52	4,559	4,611	4,628	35,810	30,577	-448	-157
4月中	7,643	93	4,237	4,144	7,550	27,735	21,393	926	282
5月中	500	102	4,227	4,125	398	12,233	12,128	89	204
6月中	1,492	600	4,468	3,868	892	12,037	11,327	-27	209
7月中	721	443	4,370	3,927	278	12,991	12,851	-72	210
8月中	711	653	4,682	4,029	58	13,524	13,404	85	-147
9月中	15,243 (1,413)	623	4,490	3,867	14,620 (790)	12,700	12,199	-118	14,237 (407)
10月中	1,008	473	4,365	3,892	535	12,896	12,587	20	206
11月中	933	67	4,556	4,489	866	11,370	10,788	126	158
12月中	-1,203	-27	4,147	4,174	-1,176	10,707	11,567	64	-380
計	29,708 (15,878)	2,248	52,625	50,377	27,460 (13,630)	183,829	171,160	2	14,789 (959)

注) その他とは、職種による記載・消除等をいう。

なお、9月中は差異を含む。()内は差異を含まない数値である。(差異については、巻頭の「利用上の注意」参照。)

24市町村で人口増加

最高増加率は木更津市2.70%

平成22年中の人口増減を市町村別にみると、24市町村で人口が増加し、30市町で減少した。増加数では、船橋市7,711人（県人口増加数に占める割合26.0%）で最も多く、以下、柏市が6,804人（同22.9%）、千葉市5,956人（20.0%）、木更津市3,401人（同11.4%）、習志野市3,152人（同10.6%）と続いている。逆に、減少数では市川市が2,170人で最も多く、以下、八街市1,821人、匝瑳市733人、富里市582人、横芝光町518人の順となっている。

また、人口増加率では木更津市が2.70%で最も多く、以下、習志野市1.95%、流山市1.78%、柏市1.71%、白井市1.66%と続いている。逆に減少率では八街市が2.43%で最も高く、以下、神崎町2.27%、大多喜町2.21%、横芝光町2.06%、睦沢町1.96%の順となっている。

表2 人口増減数上位5市町村（平成18年～平成22年）

順位	平成18年		平成19年		平成20年		平成21年		平成22年	
	市町村	増加数 人	市町村	増加数 人	市町村	増加数 人	市町村	増加数 人	市町村	増加数 人
1	千葉市	5,714	船橋市	10,732	千葉市	10,541	船橋市	7,907	船橋市	7,711
2	船橋市	5,074	千葉市	7,092	船橋市	6,727	千葉市	7,433	柏市	6,804
3	柏市	3,683	柏市	3,897	松戸市	3,829	柏市	5,038	千葉市	5,956
4	松戸市	2,845	白井市	2,522	柏市	3,797	松戸市	3,081	木更津市	3,401
5	市川市	2,260	八千代市	2,076	浦安市	2,985	流山市	2,779	習志野市	3,152

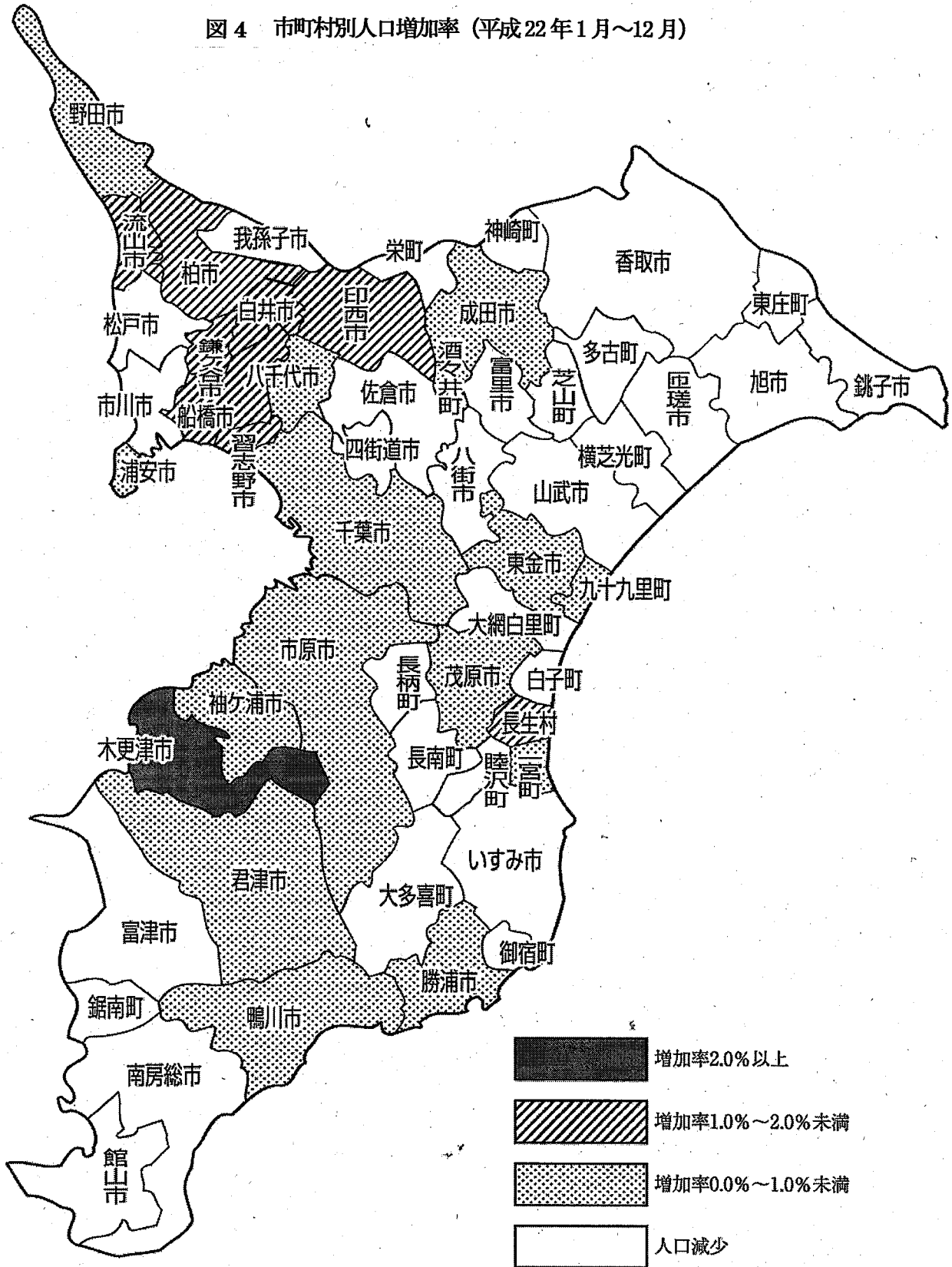
順位	平成18年		平成19年		平成20年		平成21年		平成22年	
	市町村	減少数 人	市町村	減少数 人	市町村	減少数 人	市町村	減少数 人	市町村	減少数 人
1	銚子市	1,194	銚子市	1,214	銚子市	1,220	銚子市	1,121	市川市	2,170
2	香取市	946	香取市	1,144	香取市	1,133	香取市	879	八街市	1,821
3	君津市	710	君津市	694	山武市	713	山武市	609	匝瑳市	733
4	市原市	624	富津市	603	南房総市	590	南房総市	514	富里市	582
5	南房総市	574	山武市	573	富津市	492	茂原市	431	横芝光町	518

表3 人口増減率上位5市町村（平成18年～平成22年）

順位	平成18年		平成19年		平成20年		平成21年		平成22年	
	市町村	増加率 %	市町村	増加率 %	市町村	増加率 %	市町村	増加率 %	市町村	増加率 %
1	白井市	2.51	白井市	4.62	印西市	3.46	印西市	3.39	木更津市	2.70
2	本埜村	2.25	本埜村	4.13	白井市	2.77	流山市	1.75	習志野市	1.95
3	印旛村	1.38	印旛村	3.08	印旛村	2.55	白井市	1.53	流山市	1.78
4	成田市	1.31	船橋市	1.86	浦安市	1.87	印旛村	1.42	柏市	1.71
5	流山市	1.18	成田市	1.36	流山市	1.44	船橋市	1.33	白井市	1.66

順位	平成18年		平成19年		平成20年		平成21年		平成22年	
	市町村	減少率 %	市町村	減少率 %	市町村	減少率 %	市町村	減少率 %	市町村	減少率 %
1	睦沢町	2.20	長南町	1.79	勝浦市	1.93	鋸南町	2.02	八街市	2.43
2	鋸南町	2.07	銚子市	1.65	鋸南町	1.91	長南町	1.73	神崎町	2.27
3	勝浦市	1.91	鋸南町	1.59	栄町	1.70	栄町	1.70	大多喜町	2.21
4	九十九里町	1.76	栄町	1.57	銚子市	1.69	勝浦市	1.65	横芝光町	2.06
5	銚子市	1.60	大多喜町	1.56	東庄町	1.63	銚子市	1.58	睦沢町	1.96

図4 市町村別人口増加率（平成22年1月～12月）



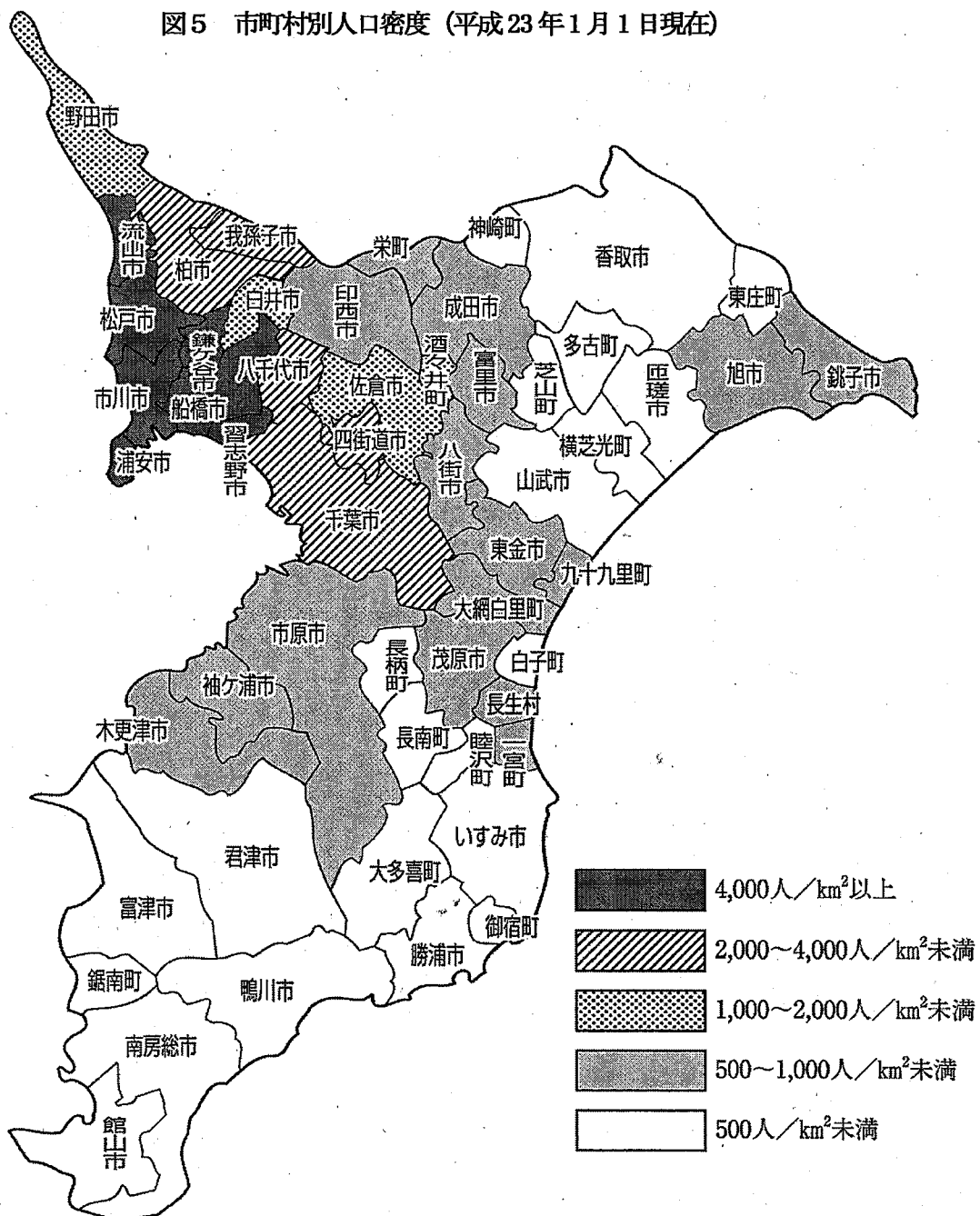
3. 人口密度

県人口密度 1,205.6 人/k²
市町村別人口密度は浦安市が
9,539.3 人/k²で最高

本県の人口密度は、平成 23 年 1 月 1 日現在 1,205.6 人/k²で、前年の人口密度 (1,199.9 人/k²) に比べ 5.7 人/k² 高くなった。市郡別にみると、市部 1,367.4 人/k²、郡部 336.4 人/k²で、市部は郡部の約 4 倍の人口密度となっている。

人口密度を市町村別にみると、浦安市が 9,539.3 人/k² で最も高く、以下、市川市 8,239.6 人/k²、松戸市 7,898.8 人/k²、習志野市 7,853.8 人/k²、船橋市 7,112.4 人/k² と続き、逆に人口密度の低い市町村は、大多喜町 82.0 人/k²、長南町 137.9 人/k²、長柄町 170.2 人/k²、芝山町 181.4 人/k²、南房総市 182.4 人/k² の順となっている。

図 5 市町村別人口密度 (平成 23 年 1 月 1 日現在)



4. 人口性比

県人口性比 99.3

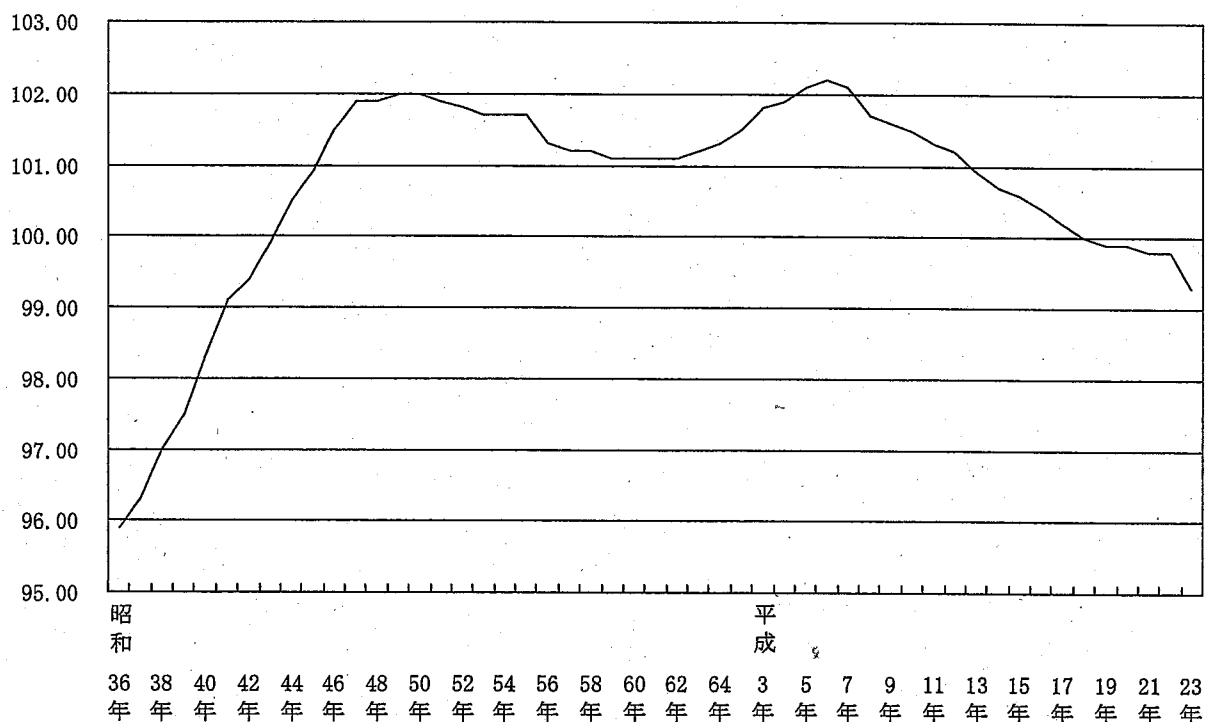
平成 23 年 1 月 1 日現在の本県の人口を男女別にみると、男 3,097,920 人、女 3,119,107 人で男が女に比べ 21,187 人少なく、人口性比（女 100 人に対する男の数）は、99.3 で前年（99.8）に比べ 0.5 ポイント減少した。

人口性比を市町村別にみると、勝浦市の 104.6 が最も高く、以下、市原市 104.5、富里市 103.6、君津市 103.4、袖ヶ浦市 102.1、逆に最も低いのは御宿町の 88.8 で、以下、南房総市 89.2、睦沢町 89.5、鴨川市 89.8、鋸南町 91.1 となっている。

100 以上の市町村は 15 市町で、100 未満の市町村は 39 市町村となっている。

昭和 36 年以降の人口性比の動きを各年 1 月 1 日現在で見ると、95.9 から上昇し続け、昭和 44 年にはじめて男性人口が女性人口を上回り人口性比が 100 を越え、平成 6 年には、過去最高の 102.2 となった。その後は徐々に下降し、平成 19 年以降は再び 100 を下回っている。

図 6 人口性比（昭和 36 年～平成 23 年、各年 1 月 1 日現在）



5. 世帯数

県世帯数 251 万世帯

1 世帯当たり人員は 2.47 人

平成 23 年 1 月 1 日現在の本県の世帯数は 2,517,792

世帯で、前年の世帯数 2,498,589 世帯に比べて 19,203 世帯増加し、増加率では 0.77% となり、人口増加率 0.48% よりも高い率となっている。

1 世帯当たり人員は 2.47 人で、前年の 2.48 人に比べ 0.01 減少した。また、1 世帯当たり人員を市町村別にみると、東庄町の 3.32 人が最も多く、以下、長南町・芝山町 3.21 人、多古町 3.09 人、匝瑳市 3.08 人と続き、逆に最も少ないのは市川市の 2.15 人で、以下、勝浦市 2.26 人、松戸市・浦安市 2.31 人、船橋市 2.33 人の順となっている。

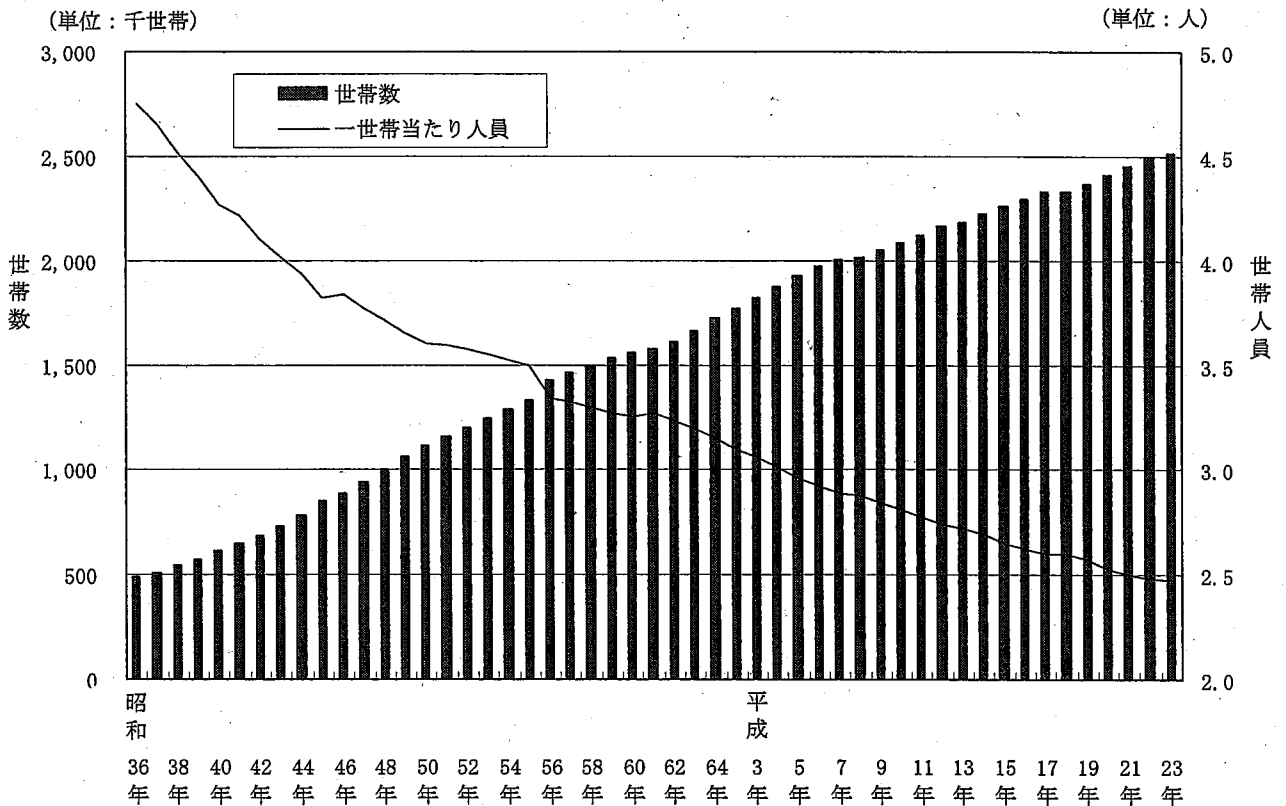
県の 1 世帯当たり人員より少ないのは 9 市で、多いのは 45 市町村となっている。

表 4 月別世帯増加数 (平成 22 年中)

	増加数	転入	転出	その他
1月中	-50	6,005	5,859	-196
2月中	-232	6,413	6,578	-67
3月中	8,879	20,920	13,787	1,746
4月中	9,564	17,315	10,034	2,283
5月中	1,358	7,278	6,478	558
6月中	1,612	6,920	6,012	704
7月中	1,217	7,244	6,718	691
8月中	748	7,201	6,769	316
9月中	-5,781 (1,829)	7,544	6,548	-6,777 (833)
10月中	1,164	7,503	6,889	550
11月中	1,124	6,519	5,797	402
12月中	-400	5,838	6,152	-86
計	19,203 (26,813)	106,700	87,621	124 (7,734)

注) その他は、県内間の転入転出、死亡世帯及び職権による記載・消除等をいう。
なお、9月中は差異を含む。()内は差異を含まない数値である。

図 7 世帯数及び世帯人員数の推移 (各年 1 月 1 日現在)



6. 県外との人口移動

人口移動総数 35万4千人

移動率 5.73%

平成22年中の県外との移動者総数(転入者数と転出者数の和)は、354,989人で前年の368,613人に比べ13,624人減少し、移動率(各

年7月1日現在人口に対する移動者総数の割合)は5.73%と、前年の5.97%に比べて0.24ポイント低下した。

1万2千人の転入超過

転入超過率 0.20%

また、平成22年の転入超過率(各年7月1日現在人口に対する転入超過数の割合)は0.20%と、前年の0.43%に比べて0.23ポイント減少した。

平成22年中の県外からの転入者数は183,829人(前年197,477人)、転出者数171,160人(同171,136人)で、転入超過数12,669人(同26,341人)となり、転入超過数は13,672人減少した。

なお、県外との関係は、44道府県から転入超過となり、2都県へ転出超過となっている。

表5 年次別他都道府県間人口移動総数(平成3年～平成22年)

年次	移動数	移動率	転入超過数	転入超過率	転入数	転出数	千葉県人口 (各年7月1日現在)
平成3年	431,533人	7.69%	44,911人	0.80%	238,222人	193,311人	5,608,760人
4年	437,491	7.70	38,413	0.68	237,952	199,539	5,680,470
5年	434,997	7.58	30,987	0.54	232,992	202,005	5,735,511
6年	430,738	7.45	14,586	0.25	222,662	208,076	5,781,768
7年	421,118	7.24	10,278	0.18	215,698	205,420	5,816,032
8年	411,860	7.08	6,586	0.11	209,223	202,637	5,818,369
9年	410,182	7.01	7,980	0.14	209,081	201,101	5,849,014
10年	409,201	6.96	12,443	0.21	210,822	198,379	5,880,299
11年	400,780	6.78	15,562	0.26	208,171	192,609	5,910,682
12年	402,748	6.78	13,754	0.23	208,251	194,497	5,943,886
13年	405,122	6.80	20,620	0.35	212,871	192,251	5,953,852
14年	392,787	6.55	17,385	0.29	205,086	187,701	5,992,362
15年	397,319	6.60	16,827	0.28	207,073	190,246	6,020,313
16年	384,037	6.35	6,233	0.10	195,135	188,902	6,048,643
17年	382,865	6.32	9,173	0.15	196,019	186,846	6,059,169
18年	380,885	6.27	14,845	0.24	197,865	183,020	6,073,549
19年	381,227	6.25	25,649	0.42	203,438	177,789	6,102,892
20年	376,061	6.13	30,077	0.49	203,069	172,992	6,139,750
21年	368,613	5.97	26,341	0.43	197,477	171,136	6,177,586
22年	354,989	5.73	12,669	0.20	183,829	171,160	6,199,614

表6 千葉県との転入・転出超過上位都道府県(平成18年～平成22年)

順位	平成18年		平成19年		平成20年		平成21年		平成22年	
	都道府県	転入超過数	都道府県	転入超過数	都道府県	転入超過数	都道府県	転入超過数	都道府県	転入超過数
1	北海道	1,810人	北海道	2,415人	北海道	2,629人	北海道	2,325人	大阪府	1,374人
2	大阪府	1,574	埼玉県	2,025	大阪府	1,779	大阪府	1,663	北海道	1,120
3	宮城県	1,302	大阪府	1,623	埼玉県	1,641	宮城県	1,192	福岡県	951
4	埼玉県	1,294	福岡県	1,479	宮城県	1,396	福岡県	1,156	愛知県	936
5	茨城県	888	宮城県	1,311	福岡県	1,359	埼玉県	1,141	兵庫県	922
順位	平成18年		平成19年		平成20年		平成21年		平成22年	
	都道府県	転出超過数	都道府県	転出超過数	都道府県	転出超過数	都道府県	転出超過数	都道府県	転出超過数
1	東京都	6,323人	東京都	1,545人					東京都	941人
2	神奈川県	730	神奈川県	442					茨城県	72
3										
4										
5										